

ブレファリスマ

blepharisma iaponicum

ブレファリスマは 和名：ベニミズケムシとも呼ばれます。原生動物の一種で、円錐形の単細胞生物です。細胞表面に繊毛を持ち、繊毛を使って泳ぎます。周りの環境が悪くなると（乾燥等）シスト（休眠状態）に変わります。細胞に薄紅色のブレファリスミンと言う色素の顆粒を持ち、これがブレファリスマの特徴です。光や温度に対して色素、行動に反応します。また暗い場所を好む。

<内容>

ブレファリスマ（試験管入り）	1本
ゾウリムシ類の飼育液用粉末	2g

<飼育培養法>

飼育液用粉末を蒸留水に0.1%の割合で入れ、軽く振ってからブレファリスマを入れて下さい。また増殖後、個体数が減ってきたときは、飼育液用粉末を同量加えてください。十分に増殖したブレファリスマを長期間飼育するには、ワラを4～5cmの長さに切り、このワラを10～15gを水1000ccの中に入れ、薄茶色になるまで煮て下さい。この煮出し汁を一昼夜室温でフタをしないで放置してをくと、枯草菌が増殖します。その中にブレファリスマを入れて、アルミホイルでフタをして室温で培養します。適温は20～25℃です。

この他にカロリーメイトやエビオスを利用する方法、チョークレー液などで培養する方法があります。

<観察法>

ブレファリスマをピペットでスライドガラスの上に取り100～400倍で形態を観察します。核の観察はスライドガラスのブレファリスマに、酢酸カーミンを一滴たらしカバーガラス静かに置いて検鏡します。

食胞の観察にはスライドガラスのブレファリスマに細いガラス棒やマッチ棒で少量の墨汁を混ぜて検鏡して下さい。尚、暗所で飼育中のブレファリスマの薄紅色は濃く、それを明所に出すと次第にその色は薄くなります。

